

3701

人の形の變あれば  
形の人の變あれば  
昭和廿五年七月九日



# 3702

昭和廿五年より三月十三日迄に今時  
 逝けたる有名の五十四人(その順列は  
 足席次は分列)



順列	逝きたる人	分列
1	壬生雄儀大衛王	七二
2	鹿見元慶三	?
3	小池てる茂	七五
4	今井 志喜	六三
5	アンリ・ケータール	七四
6	六角三郎	七六
7	織田やエ	八〇
8	林 蓮	六八
9	川崎田子男	五八
10	河野通勢	五四
11	大田泰藏	七八
12	ジェームス・ダン	五二
13	日比野 寛	八三
14	清水田松	八四
15	吉田 博	七三
16	前沢五郎	七
17	木谷 暹吟	七二
18	ウラル・ヒューズトン	六六
19	田中和一郎	六三
20	ヒヨースタン	六六
21	杉本 勝美	四八
22	丹羽 吉吉	六五
23	岡田 徳吉	五二
24	シニエル七博士	七二
25	大須賀兵吉	五一
26	多スト・スロ...	六五
27	ABからYZまで	一
28	鹿島英一	七六
29	渡辺 礼	?
30	相馬 御奥	六八
31	K谷まさる	五五
32	北村保太郎	五九
33	北村保太郎	五九
34	有吉 久子	七一
35	頼 憲三	七三
36	船田 三郎	六八
37	田畑昇太郎	六六
38	水谷 まさる	五五
39	薄船 江川武	五九
40	坂西 利八郎	七九
41	大森 亮	七三
42	栗橋 望子	四五
43	市村 今朝藏	五一
44	元 出羽ヶ嶽	四七
45	鈴木 支	五九
46	飯田 七之	三三
47	喜屋 直由枝	二九
48	竹内 最助	二九
49	杉本 鏡子	七六
50	小 漢 次郎	八四
51	松 方 幸次郎	八四
52	山室 宗文	六九
53	川上 直之助	八五
54	吉田 晴風	六〇
55	児島 吾久雄	六二
56	高田 貞男	六四
57	三洲 忠彦	七〇
58	松井 和義	七〇
59	小田 鳥 祐吉	四六
60	佐 米 子	八四
61	濃 徳 和	七二
62	石 浜 知行	五五
63	西野 元氏	七五
64	佐々木善四郎	五一

3703

# 豪雨

昭和廿五年七月十六日



3704

こゝに、よき女と男と見よる。  
おもしく、またうれしくあれ。

昭和廿五年八月四日





3705

八月十二日は熱帯は必ず  
南北熱帯兩緯度各二十  
昭和廿五年八月十二日



3706

日あつてあい。人あつてあるか。  
人あつてあい。日あつたあるか。

昭和廿五年八月廿四日



日本が米人をよろこぶか？  
米人が日本をよろこぶか？



日本が  
米人を  
よろこぶや。



米人が  
日本を  
よろこぶや。



3707

シエーン台風、猛威を振ふ  
死傷千全壊六千、大阪取もひとし  
昭和廿五年九月四日  
伊東

新潟で風速三十メートル

山形も荒れる

京都の国室に被害

大阪最もひとし

四國も大被害

(北鮮軍も英濠も反対せず)



数字通過時刻( )は室戸台風

シエーン台風

室戸台風

昭和9年9月21日

3708

九十九里浜が震源地

昭和二十五年九月十日





会認する三國代表の警言察  
學校構内総監田中榮二君。  
昭和二十五年九月二十日



使因仙米駐

① ボンツト



④

アチソン

務長國英



⑤

ヘウイン



相外美

②

シユーマン

相外仙



官長務米

③



ジエサツフ



米 仙 英

駐米三人

一人 一人 一人

支那、印度、○○、○○、

呼日本は如何？

3710

千代田区代官町  
警視廳警察學校構内

昭和二十五年九月二十日



柔道形

古式の形

投の形

極の形

固の構

3711

浅間山大爆發

昭和二十五年九月二十三日



浅間大爆發  
六千メートル噴煙  
を吹き上げ火山  
灰が火口から南  
西一帯落下す  
る得か？



(廿五才)

小谷仁經

雖敗，就山河如故  
扶桑國元氣在部  
遙揮靈峰瀛海  
噫嗚哉終之卯湖



3712

昭和十五年十月十日







古朝鮮	-?- BC	
樂浪帶方時代	-----	
三国時代	高句麗	668-A.D.
	馬韓-百濟	668-A.D.
	新羅-任那(伽倻)	562-A.D.
	古新羅	668-A.D.
新羅-統時代	168-935-A.D.	
高麗時代	918-1392-A.D.	
李朝時代	1392-1910-A.D.	

3713

朝鮮平壤朝鮮館芝荷

昭和二十五年十月十二日

朝鮮歷代  
對照表



8714

昭和二十五年十月二十日

父三浦謹之助逝去の節は御懇篤な  
御弔詞を戴き有難く厚く御禮申上  
げます

東京都千代田区神田駿河台二丁目一番地三三

同三浦 義紀 彰彦

第四十一回授賞式次第

昭和二十六年五月十五日午後二時



一 院長挨拶

一 授賞

工学博士 外山修之  
イシエラオゾアツ 栗野頼之祐

恩賜賞 工学博士 外山修之

「油脂類に海産動物油に関する研究」に対し

日本学士院賞 小西甚一

「文鏡秘府論考」に対し

同 工学博士 栗野頼之祐

「出土史料によるギリシア史の研究」に対し

同 久保正橋

「サリカ法典」に対し

同 理学博士 岡 潔

「多変数解析関数に関する研究」に対し

同 理学博士 永田 武

「岩石の磁気的性質に関する地球磁気学的研究」に  
対し

同 理学博士 小林 貞一

「佐川造山輪廻とその日本群島の起源に対する意  
義」に対し

同 医学博士 小川 鼎三

医学博士 平 澤 興

「兼体外路系に関する研究」に対し

一 内閣総理大臣祝辞

理学博士 小林 貞一  
医学博士 平 澤 興



3716

長岡半太郎 物理学  
HANTARO NAGAKURA  
昭和二十五年十一月二十日  
中大





3717

飯田須賀斯がすてで、  
昭和二十五年の十二月を  
すてみてよくヨクく

